

重誓寺報

浄土真宗 本願寺派 (西本願寺) 重誓寺
じゅうせいじ

大阪市旭区中宮2丁目4番19号
電話・FAX 06(6951)0090
<http://juseiji.net>

普段はお盆と言っていますが、「盂蘭盆会」が正式名称で、盂蘭盆経というお経の教説が由来となっています。

お釈迦様の十大弟子の一人に、神通力第一といわれる目連尊者という方がおられました。ある日、目連が自分の神通力で、亡くなった母親の姿を見たところ、母親は餓鬼の世界に堕ちており、逆さ吊りにされて飢えと渇きに苦しんでいました。母親を救おうと、神通力で食事や飲み物を送っても、目前で灰と化してしまい、凶器となって母親をさらに苦しめてしまうこととなったそうです。

嘆き悲しんだ目連尊者がお釈迦様に、何とか母親を救いたいと相談したところ、自分の力は母親だけのために使うのではなく、すべての人を救う気持ちを持つように、と諭されました。そこで、目連尊者は雨期に行われる修行(安居)を終えた僧たちに、食べ物や飲み物、寝床などを捧げたところ、修行僧たちは大変喜び、それが餓鬼の世界まで伝わり、母親が救われたということでした。安居の開ける日が、旧暦七月十五日だったので

す。その喜びの姿から「歡喜会」とも呼ばれ、その様子から盆踊りが始まったとも言われています。



法座のご案内

重誓寺では毎月、二十日

(三、九、十一月は二十日、二十一日)

法座が勤まります。

勤行約三十分、法話約一時間

秋季永代経法要

九月二十日(火)午後二時、七時

二十一日(水)午後二時

講師 東淀川区 萬福寺 寺本正尚 師

常例法座

十月二十日(木)午後二時

講師 岐阜県 大性寺 牧野光博 師

親鸞聖人報恩講

十一月二十日(日)午後二時、七時

講師 茨木市 専念寺 高島幸博 師

二十一日(月)午後二時、七時

講師 枚方市 浄行寺 義本弘導 師

常例法座

十二月二十日(火)午後二時

講師 旭区千林 浄光寺 中西昌弘 師

尚、新型コロナウイルスの感染状況により、休座する場合があります。お気軽にお問い合わせ下さい。

親鸞聖人誕生八五〇年
立教開宗八〇〇年

団体参拝



来る二〇二三年は、宗祖親鸞聖人のご誕生八五〇年、またその翌年には立教開宗八〇〇年にあたる記念すべき年をお迎えいたします。

親鸞聖人は承安三年(一一七三年)にご誕生となり、御年九歳で出家得度、比叡山で修行を重ねられました。二十九歳の折、山を下りて法然聖人の御弟子となり、阿彌陀如来の本願念仏の世界に入られました。その後、専修念仏停止によって越後に流罪、赦免の後、関東に赴かれて他力念仏のみ教えを人々に伝えるとともに、『教行信証』の執筆にとりかかられました。本書は、浄土真宗の根本聖典という意味でご本典と呼ばれています。そして、この記述によって、その年を立教開宗の年と定めています。

大阪教区榎並組(旭区・城東区・都島区)では、令和四年(二〇二三年)四月二十六日、本願寺へ団体参拝いたします。是非予定頂き、ご一緒にお参り致しましょう。詳細が決まりましたら、御案内致します。

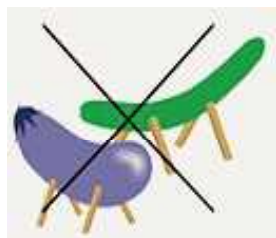
お盆はいつから、いつまで？

と聞かれることがよくあり、こちらも困ってしまいます。おそらく先祖の方が、いつ帰って来られるのかと聞きたいのでしよう。

しかし残念ながら、お盆の起源やお経に、先祖が帰って来られるということは書かれていないと思います。少なくとも浄土真宗の教義にそのようなものはありません。

ですから御供えに野菜で作った馬や牛は必要ありませんし、家に帰るのか、お墓に帰るのかなんて関係ありません。亡き方は、常に阿弥陀様と共に私たちのそばに居られるのです。

ではお盆なんて必要無いのでしょうか。私たちは「いつでも」と言われると、つい放つたらかしになつてしまいます。



浄土真宗のお盆

お盆休みで家族や親戚が集まることも多いかと思えます。皆様で仏法に触れ、先祖への感謝の機会にしてください。

お盆をどう迎えていいのだろうか？とイ

ンターネットなどで調べる方も多いのではないのでしょうか。巷には様々な情報がある方々は、お盆を迎えるための特別な準備は必要ありません。

仏さまの国（浄土）に生まれた亡き方々は、阿弥陀仏とともに、大いなる慈悲の心で、迷いの中で苦しむ私たちを、いつも見守ってくださっているのです。冥福を祈るために行う「追善供養」は必要ありませんし、精霊棚、施餓鬼棚もいりません。

亡き方の恩に感謝し、仏さまの救いにおいて、お浄土に行かれた方々と、やがてくのが浄土真宗です。その仏さまを「南無阿弥陀仏」といいます。

お念仏をとなえ、み教えを喜ぶ身になつてほしいという、亡き方たちの願いを聞いていつていたきたいのです。仏さまのお話を通して、わが身を振り返る大切な機会にしていきましよう。



坊 守 日 記

盲導犬パピーと散歩するときは、犬に話しかけながら歩きます。

まだ幼いパピーには怖いものや不思議なものがいっぱい。

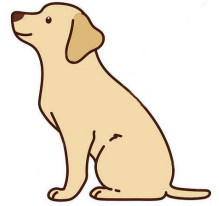
“そうだねーgood!”、“大丈夫、大丈夫、怖くないよ!”、“それはNO!”、“お花キレイだねー”、等々。

犬からワンと返事はありませんが、声かけをしていくうちにアイコンタクトが取れるようになり、お互い歩くりズムが調和してきます。そうなる、ますます散歩が楽しくなり色んな所に行きたくなります。

でも先日、初めてパピーウォーカーしている人から、「道で犬に話しかけるのが、どうも恥ずかしくて・・」と。そりゃそうですね。冷静に考えたら、犬にずーっと話しかけてる人には近づきたくないかも。

大丈夫ですよー。3ヶ月もすれば慣れます。笑顔で会話できるようにになったらあなたも立派なパピーウォーカーです！

あなたも変な人の仲間入り、しませんか？



お盆のお参りについて

重誓寺では、お盆は希望されるお宅のみお参りさせて頂いてます。ただし希望される日時にお伺いできるとは限りませんので、必ず前もってお問い合わせください。

また初盆等も含め、普段のお参りと同じお勤めになりますことをご了承ください。



お参りの変更や相談など、ちょっとした連絡をメールでもお聞きします。お気軽にお問い合わせ下さい。ただし急ぐ場合や返事が無い時は必ず電話でお願いします。

重誓寺 E-mail juseiji@gmail.com(携帯)

TEL 06(6951)0090